

自己紹介



藤沼航平(35)

栃木県下野市

→ 福島県南会津郡只見町

H25 宇都宮大学農学部 卒業

H29 全農とちぎ 退社

R2 只見町地域おこし協力隊 卒業

R4 森林の分校ふざわ支配人 就任

その他肩書

・ただみガイド協会 副会長

・各運営協議会

・KFB県民リポーター(福島県内のTV局)

・NPO法人そらとぶ教室社員

・只見高校総探サポーター

他



森林の分校ふざわ

指定管理施設（都市農村交流拠点）

廃校（S57）になった小学校分校

主な事業

- ・ 宿泊
- ・ 体験コンテンツ
- ・ 観光交流
- ・ 関係人口
- ・ 移住定住

メインターゲット

春秋 ご高齢の団体様

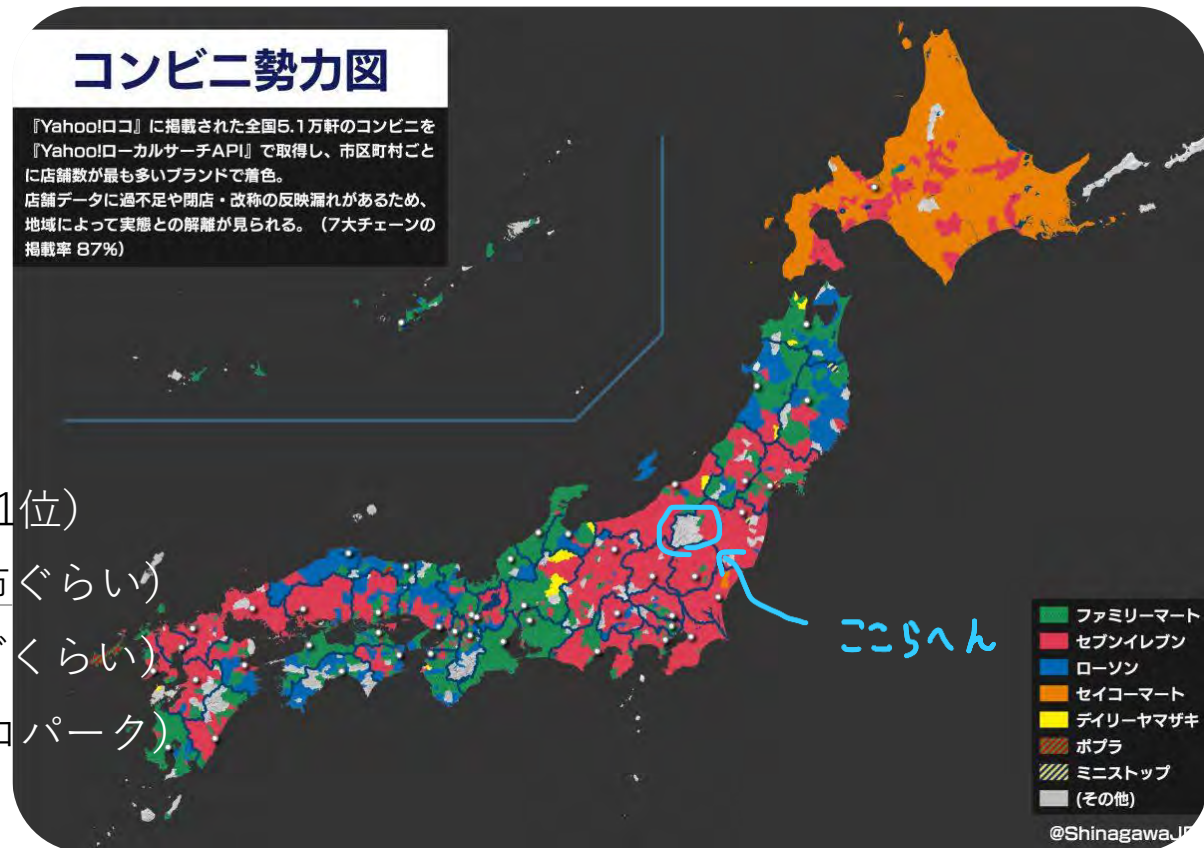
夏冬 小学生団体・ご家族

通年 大学生団体・環境自然系団体



只見町について

- 福島県の一番西
- 奥会津エリア
- 東京から車で約3時間30分
- 人口 約3,700人 (1512/1741位)
- 面積 747km² (23区+八王子市ぐらい)
- 人口密度 5.21人/km² (カナダぐらい)
- 自然首都只見 (ユネスコエコパーク)



大学生団体と只見町の関わり



※過去3年間に只見町内で定期的な地域活動を行った大学生団体

宇都宮大学D-friendsの例

・サークル概要

只見町布沢集落と群馬県中之条町を活動拠点とした地域交流/地域おこしサークル
発足10年 現役メンバー約40名ほか、OBOGも活動に積極的に参加

・活動内容(布沢集落)

お宅訪問/お茶会などの集落住民との交流

集落活動の補助(普請活動・集落行事・地域行事)

耕作放棄地の利用(水田・畑・ビオトープ転換)

年度ごとの活動(アナログ記録媒体の保存・グーグルマップへの情報登録など)

関係人口 = 集落/地域 の担い手

関係人口でどのくらい地域が助かっているか

布沢集落 と 宇都宮大学D-friends の例だと

布沢集落・・ 50戸100人未満の小さな集落

宇都宮大学D-friends 約15人が年間12回の活動

$15人 * 2日 * 12回 = 360人/年$

☆普請活動(草刈り)・集落行事・地域行事やイベントなど

人が足りない場面で元気な若者が複数人来てくれる状態

⇒ 只見町の同規模他集落と比べてムラ機能の損失が少ない

大学生サミット/裏サミットの開催



只見町は大学生が集まる町！

R4年度～R7年度

6回開催（7回目3月に開催予定）

<ねらい>

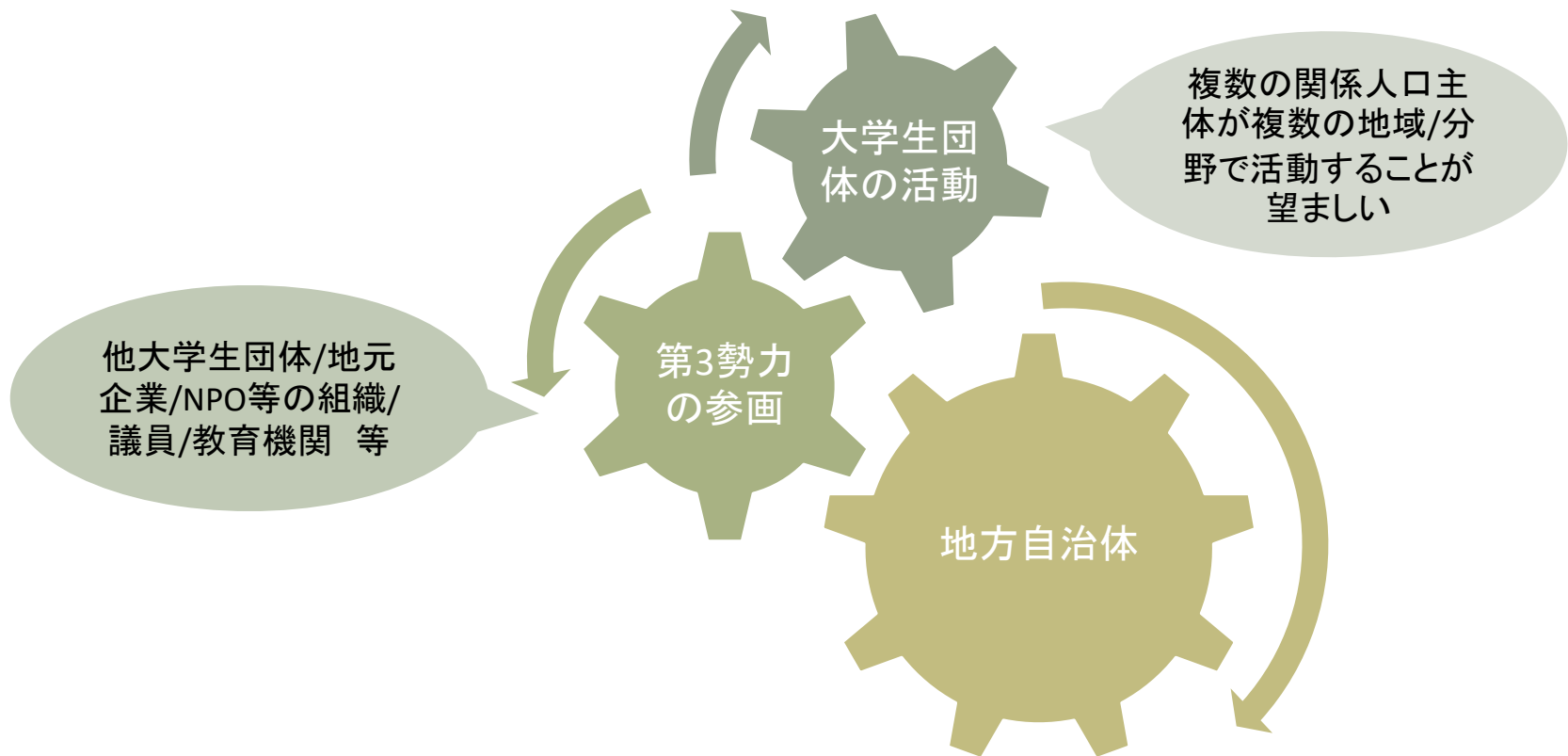
- ・ 横の繋がり/縦の繋がり
- ・ 町全体のことを知る
- ・ 町への周知 他

<内容>

- ・ 活動報告
- ・ 他団体の活動をやってみる
- ・ ワークショップ 他

※福島県サポート事業の支援を受けています

地域自治体を動かす仕掛け



関係性の持続

どうやったら関係性を持続させられるか？

学生団体側

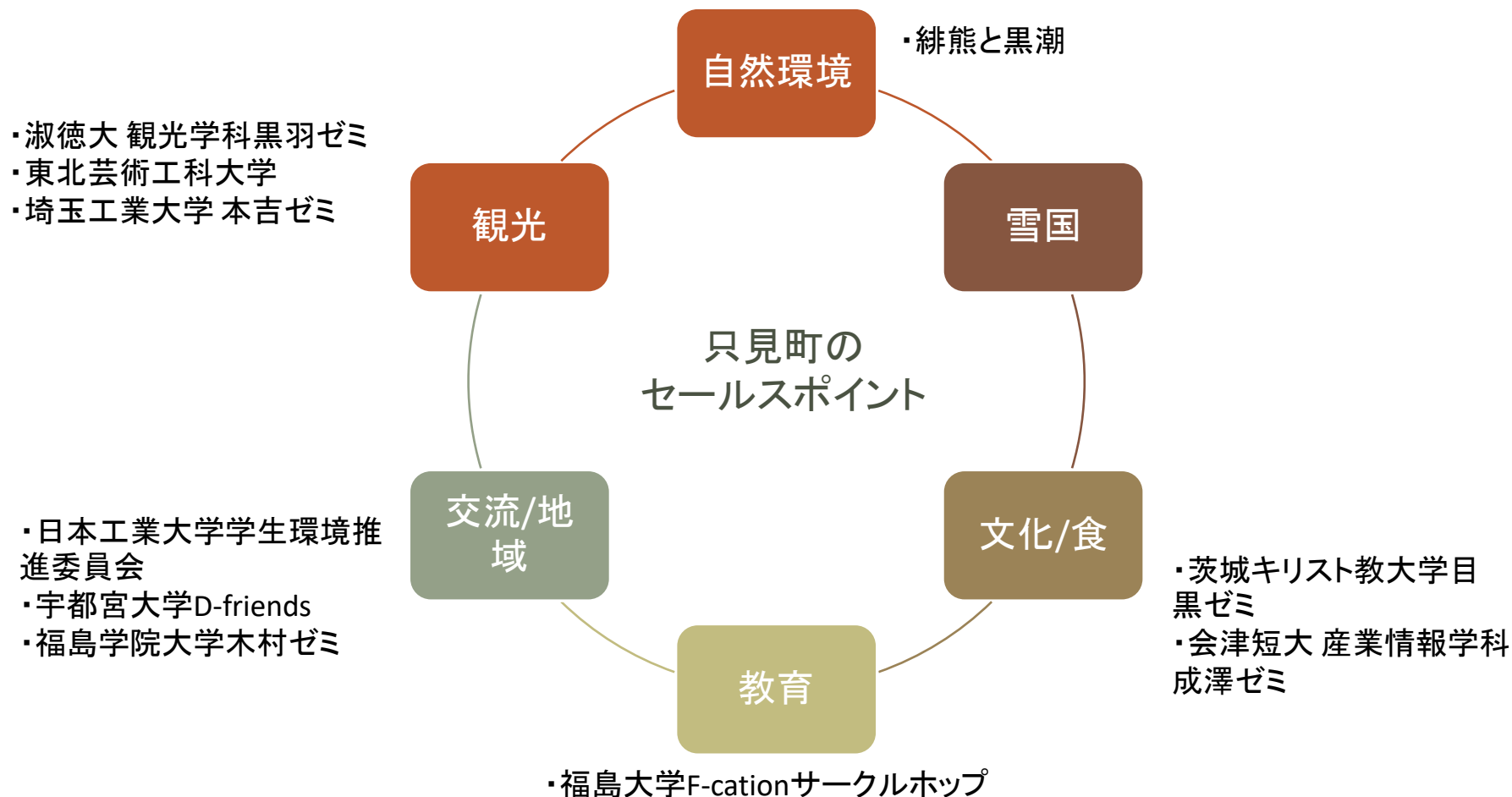
- ・ゼミから独立しサークル化すること
- ・ボランティア精神 × ・資金を調達する術

受入側

- ☆地域の労働力として見ないこと
- ・5年面倒を見れるキーマン(ハブ人材)が地域にいること
- ・その他いろいろ

☆双方の希望をすり合わせること

分類① 活動分野



※過去3年間に只見町内で定期的な地域活動を行った大学生団体

分類② きっかけ

町(観光/教育担当課)誘致型

- ・淑徳大 観光学科黒羽ゼミ
- ・埼玉工業大学 本吉ゼミ
- ・福島大学F-cationサークルホップ

福島県の事業 ≡ 自治会の取り組み型

-大学生事業

- ・宇都宮大学D-friends
- ・日本工業大学学生環境推進委員会

-関係人口づくり事業

- ・福島学院大学木村ゼミ

個人型(個人の繋がり)

- ・茨城キリスト教大学目黒ゼミ
- ・東北芸術工科大学
- ・会津短大 産業情報学科成澤ゼミ

環境依存型(ユネスコエコパーク等)

- ・緋熊と黒潮
- ・団体ではないけど個人は多数

企業連携型

継続年数

3年未満または活動終了 黄色

3～5年 青

6年以上 赤